

2022年7月期 決算説明会資料

株式会社バルニバービ
証券コード3418



BALNIBARBI

2022年7月期 業績は、売上高 9,969百万円、営業利益△447百万円

売上高（前年比 123.9%）

- ・ 行動制限の解除に伴い、当社の強みであるテラス席などの店外空間の利用や屋外での飲食利用増
- ・ 連結売上高は前年比プラス23.9%も、当初予想とを下回る

営業利益（△447百万円）

- ・ 店舗休業期間中の休業手当等の人件費や店舗の固定費等の負担に加え、原材料費や光熱費の高騰による影響により営業利益は前回発表予想を下回る

経常利益（1,185百万円）

- ・ 助成金収入約1,648百万円により経常利益は予想を上回る

（単位：百万円）

	2021年7月期		2022年7月期									
	実績		当初予想		修正予想		実績		前年比		当初予想比	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	増減額	前年比	増減額	予想比
売上高	8,046	100.0%	10,000	100.0%	9,969	100.0%	9,969	100.0%	1,923	123.9%	△ 30	99.7%
営業利益	△1,212	△15.1%	0	—	△447	—	△447	—	765	—	△ 447	—
経常利益	△622	△7.7%	500	5.0%	1,185	11.9%	1,185	11.9%	1,807	—	685	237.1%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	357	4.4%	300	3.0%	123	1.2%	123	1.2%	△ 234	34.6%	△ 176	41.3%

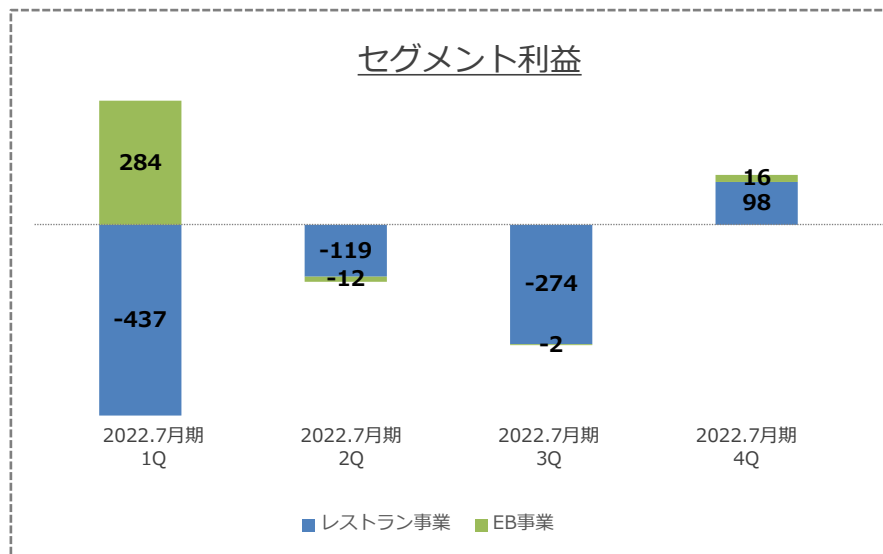
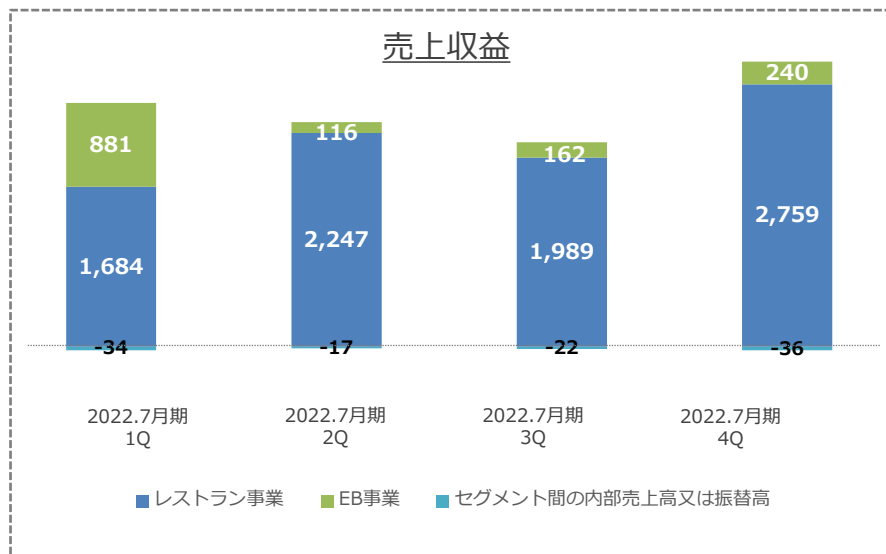
連結損益計算書

(単位：百万円)

	2021年7月期		2022年7月期				増減要因
	実績		実績		前年比		
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	前年比	
売上高	8,046	100.0%	9,969	100.0%	1,923	123.9%	
レストラン事業	7,608	94.6%	8,569	86.0%	960	112.6%	
バッドロケーション	2,375	29.5%	2,706	27.2%	331	114.0%	
不動産デベロッパー	3,360	41.8%	3,881	38.9%	521	115.5%	
行政・公共機関	1,304	16.2%	1,466	14.7%	161	112.4%	
大学・その他	280	3.5%	290	2.9%	9	103.5%	
その他	287	3.6%	223	2.2%	△64	77.7%	
EB事業	437	5.4%	1,400	14.0%	963	320.4%	大阪市中央区の販売用不動産売却 淡路島「Frogs FARM」の堅調な推移
売上原価	2,280	28.3%	3,029	30.4%	748	132.8%	販売用不動産の取得原価含む
売上総利益	5,765	71.7%	6,940	69.6%	1,175	120.4%	
販売費及び一般管理費	6,978	86.7%	7,388	74.1%	409	105.9%	
人件費	2,954	36.7%	3,064	30.7%	110	103.7%	
地代家賃	953	11.9%	1,087	10.9%	134	114.1%	
減価償却費	542	6.7%	432	4.3%	△110	79.7%	
水道光熱費	437	5.4%	512	5.1%	75	117.2%	
その他	2,090	26.0%	2,290	23.0%	199	109.6%	
営業損失(△)	△1,212	—	△447	—	765	36.9%	
営業外収益	654	8.1%	1,677	16.8%	1,022	256.3%	助成金収入 1,648百万円
営業外費用	63	0.8%	44	0.4%	△19	69.9%	
経常利益又は経常損失(△)	△622	—	1,185	11.9%	1,807	—	
特別損益	1,157	14.4%	△935	—	△2,093	—	減損損失939百万円 前年は京都の不動産売却益含む
税金等調整前四半期利益	535	6.7%	249	2.5%	△286	46.6%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	357	4.4%	123	1.2%	△234	34.6%	

セグメント別業績ハイライト

- ・レストラン事業は、売上は回復傾向にあり、4Qは営業利益が98百万円と改善
- ・EB事業は1Qにおける販売用不動産の売却に加え、淡路島「Frogs FARM ATOMOSPHERE」における11店舗が加算



	2021年7月期			2022年7月期 1Q			2022年7月期 2Q			2022年7月期 3Q			2022年7月期 4Q			2022年7月期 累計		
	売上収益	セグメント利益	セグメント利益率	売上収益	セグメント利益	セグメント利益率	売上収益	セグメント利益	セグメント利益率	売上収益	セグメント利益	セグメント利益率	売上収益	セグメント利益	セグメント利益率	売上収益	セグメント利益	セグメント利益率
レストラン事業	7,697	△1,284	-	1,684	△437	-	2,247	△119	-	1,989	△274	-	2,759	98	3.6%	8,680	△732	-
EB事業	437	71	16.2%	881	284	32.2%	116	△12	-	162	△2	△1.2%	240	16	6.8%	1,400	285	20.4%
セグメント間の内部売上高又は振替高	△88	0	-	△34	0	-	△17	0	-	△22	0	-	△36	0	-	△111	0	-
合計	8,046	△1,212	-	2,531	△153	-	2,346	△132	-	2,129	△276	-	2,962	114	3.9%	9,969	△447	-

当第4四半期の状況

- ・不安定な外的状況に対するきめ細やかな店舗運営により売上高は回復傾向
- ・売上増及び適切なコストコントロールにより営業利益はプラスに改善
- ・助成金収入により経常利益は大幅増益

(単位：百万円)

	2021年7月期							
	1Q実績		2Q実績		3Q実績		4Q実績	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比
売上高	2,530	100.0%	1,899	100.0%	1,814	100.0%	1,801	100.0%
営業利益	△58	—	△353	—	△369	—	△431	—
経常利益	69	2.7%	△346	—	△222	—	△122	—
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,069	42.2%	△243	—	△139	—	△328	—

	2022年7月期							
	1Q実績		2Q実績		3Q実績		4Q実績	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比
売上高	2,531	100.0%	2,346	100.0%	2,129	100.0%	2,962	100.0%
営業利益	△153	—	△132	—	△276	—	114	3.9%
経常利益	305	442.7%	439	18.7%	60	2.9%	379	12.8%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	200	18.7%	277	11.8%	40	1.9%	△395	—

2022年7月期 第4四半期出退店

(出店)

■EB事業 きるかか・オオハマ ビーチテラス

※「*」の店舗数は報告セグメントの区分変更に伴い増減しています

(単位：店舗数)

	2020年7月末	2021年7月期上期		2021年1月末	2021年7月期 下期		2021年7月末	2022年1月末	2022年7月期 下期		2022年7月末
		出店	退店		出店	退店			出店	退店	
パッドロケーション	33	1	—	34	2	—	36	33	—	3*	30
関東地区	23	1	—	24	—	—	24	24	—	3*	21
関西地区	8	—	—	8	2	—	10	7	—	—	7
その他地域	2	—	—	2	—	—	2	2	—	—	2
不動産デベロッパー	38	1	2	37	—	—	37	34	—	—	34
関東地区	23	1	2	22	—	—	22	19	—	—	19
関西地区	13	—	—	13	—	—	13	13	—	—	13
その他地域	2	—	—	2	—	—	2	2	—	—	2
行政・公共機関	11	—	—	11	1	—	12	12	—	—	12
関東地区	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
関西地区	10	—	—	10	1	—	11	11	—	—	11
その他地域	1	—	—	1	—	—	1	1	—	—	1
大学・その他	9	1	2	8	—	1	7	7	—	1	6
関東地区	1	—	—	1	—	—	1	1	—	—	1
関西地区	6	—	2	4	—	—	4	3	—	—	3
その他地域	2	1	—	3	—	1	2	3	—	1	2
EB事業	—	—	—	—	—	—	—	6	8	—	14
関東地区	—	—	—	—	—	—	—	—	3*	—	3
関西地区	—	—	—	—	—	—	—	6	5	—	11
その他地域	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	91	3	4	90	2	—	92	92	8	4	96

純資産増に伴い、自己資本比率は25.3%
有利子負債依存度は長期借入金の返済により46.9%

(単位：百万円)

	2021年7月期		2022年7月期				主な増減要因
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	
流動資産	4,097	49.0%	5,236	58.9%	1,139	27.8%	
現金及び預金	2,301	27.5%	2,681	30.2%	379	16.5%	
販売用不動産	1,051	12.6%	1,488	16.7%	436	41.6%	淡路島等の販売用不動産が増加
固定資産	4,269	51.0%	3,656	41.1%	△ 613	△14.4%	
有形固定資産	2,787	33.3%	1,878	21.1%	△ 908	△32.6%	建物及び構築物の減少△503百万円 土地の減少 △255百万円
無形固定資産	378	4.5%	361	4.1%	△ 17	△4.5%	
投資その他の資産	1,103	13.2%	1,415	15.9%	312	28.3%	繰延税金資産の増加 282百万円
資産合計	8,366	100.0%	8,892	100.0%	526	6.3%	
流動負債	3,254	38.9%	4,230	47.6%	975	30.0%	短期借入金の増加 600百万円
固定負債	2,889	34.5%	2,295	25.8%	△ 594	△20.6%	長期借入金の減少△952百万円
負債合計	6,144	73.4%	6,525	73.4%	380	6.2%	
資本金	425	5.1%	466	5.2%	41	9.8%	
資本剰余金	773	9.2%	815	9.2%	41	5.4%	
利益剰余金	1,077	12.9%	1,137	12.8%	59	5.5%	
自己株式	△172	2.1%	△172	1.90%	0	0.0%	
非支配株主持分	118	1.4%	120	1.4%	2	1.8%	
純資産合計	2,222	26.6%	2,367	26.6%	142	6.5%	
負債・純資産合計	8,366	100.0%	8,892	100.0%	526	106.3%	
有利子負債	4,566	54.6%	4,167	46.9%	△398	△8.7%	

助成金収入及び減損損失の計上により営業活動によるキャッシュ・フローは1,207百万円
EB事業における多様なファイナンススキームにより出店は加速するも投資活動による支出は減少

(単位：百万円)

	2021年7月期	2022年7月期		コメント
	実績	実績	増減額	
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 101	1,207	1,308	
(主な内訳)				
税金等調整前四半期純利益	535	249	△ 286	
減価償却費	569	454	△ 114	
固定資産売却益	△ 1,671	0	1,671	
店舗閉鎖損失	49	7	△ 41	
減損損失	385	939	554	24店舗等の減損損失939百万円
関係会社株式売却損	82	0	△ 82	
販売用不動産の増減額	△ 264	△ 139	124	淡路島で取得した販売用不動産等（振替含む）
助成金収入	△ 604	△ 1,648	△ 1,043	雇用調整助成金1,648百万円
法人税等の支払額	△ 20	△ 214	△ 194	
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,829	△ 448	△ 2,278	
(主な内訳)				
有形固定資産の売却による収入	2,353	13	△ 2,340	
資産除去債務の履行による支出	△ 31	△ 6	25	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,203	△ 379	823	
(主な内訳)				
短期借入金の増減	450	600	150	
長期借入金の増減	△ 1,394	△ 913	481	長期借入金の返済による支出△913百万円
株式の発行による収入	4	83	78	
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	0	
現金及び現金同等物の増減額	525	379	△ 145	
現金及び現金同等物の期末残高	2,301	2,681	379	

2023年7月期通期業績は、売上高11,411百万円、営業利益268百万円を予想

■ レストラン事業

- ・ 既存店は2019年度コロナ前売上を指標としつつ、大型パーティー等の減少を加味して対比92%で設定
- ・ 原材料及び水光熱費の高騰は予算に織り込み済み
- ・ 固定費削減ならびに店舗運営子会社ごとの適切かつきめ細やかなオペレーションの実施により営業赤字は回避

■ EB事業

- ・ 淡路島「Frogs FARM ATMOSPHERE」における新規出店並びに既存店舗の収益性維持
- ・ 島根県出雲エリア開発プロジェクトにおけるレストラン、宿泊施設の新規出店

(単位：百万円)

	2022年7月期		2023年7月期			
	実績		通期予想			
	金額	売上比	金額	売上比	前年比	増減額
売上高	9,969	100.0%	11,411	100.0%	114.5%	1,441
営業利益	△447	—	268	2.3%	—	715
経常利益	1,185	11.9%	266	2.3%	22.4%	△ 919
親会社株主に帰属する 当期純利益	123	1.2%	115	1.0%	92.9%	△ 8

2022年7月期トピックス



BALNIBARBI

①新・事業セグメント「エステートビルドアップ事業」の推進

- ・大阪市中央区の販売用不動産を売却、不動産売却益をEB事業に計上
- ・不動産価値向上を目的としたアライアンスによるファイナンススキームとして、不動産SPC（特別目的会社）による出店を推進

②地方創再生プロジェクトの取組 – Frogs FARM ATMOSPHERE 他

- ・淡路島「Frogs FARM ATMOSPHERE」プロジェクトにおいて約40,000㎡のエリア開発を進行
- ・淡路島の廃校施設をリノベーションし、地域コミュニティの場として複合施設を出店

③新たな収益源の創出

- ・スキー場における冬季期間限定出店により、閑散期における多様な働き方を提案するモデル店舗を創出
- ・WEBメディア「旅色」との地域活性化共同プロジェクトとして地域の魅力を食すコース料理を販売

④サステナビリティへの取り組み

- ・環境省より「エコ・ファースト企業」として認定、今後サステナビリティ経営を推進

①新・事業セグメント「エステートビルドアップ事業」の推進

エステートビルドアップ事業では、个性的で潜在的魅力に溢れるエリアを発掘、取得し、レストラン旗艦店と宿泊施設を中心に飲食店や物販店、レジャー施設等の複合的な店舗や機能を一体的に開発することで、そのエリアの不動産価値向上を目的としております。地域内外から人が集まる「食」をベースとしたエリアの活性化を推進することで、店舗の運営収益に加え、活性化した不動産の流動化による新たな収益を見込んでおります。

■事業展開プロセス

Phase1 寂れた状態

自社での情報収集、地方自治体、地方銀行等からの物件の紹介



Phase2 きっかけの一石

集客力のあるレストランを出店



地産地消のイタリアンレストラン

Phase3 宿泊施設の出店

滞在できる施設を出店することでよりエリアを楽しむことができる



オーシャンフロントのホテル

Phase4 新たなる施設の展開

エリアを楽しむためのコンテンツを充実させる



周辺環境を活かしたコンテンツを創出

Phase5 「食」をベースとしたエリアの活性化

地域内外から人が集まり、エリアが活性化していく



地元の人とつくりあげる祭りやイベント



食物販や宿泊施設など多様な店舗展開

Phase6 住みたくなる街をつくる

居住し、働き、地域と融合する



移住環境の整備

(参考) 淡路島におけるエリア活性・不動産開発を目的とした新規設立会社

株式会社アワエナジー

淡路島の地域活性化を目的に(株)パソナグループと設立した合併会社

- ・ 資本金：98百万円
- ・ 設立：2018年10月
- ・ 出資比率：(株)バルニバービ 51%/ (株)パソナグループ 49%



株式会社エナビー/株式会社エナビードゥー工

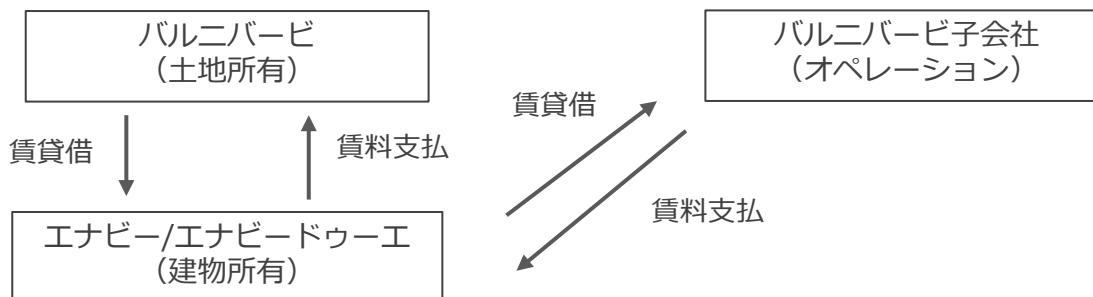
淡路島のエリア不動産開発を目的にNECキャピタルソリューション(株)との共同設立した不動産SPC

■株式会社エナビー

- ・ 資本金：200万円
- ・ 設立年月日：2020年3月31日
- ・ 出資比率：(株)バルニバービ 50% (優先株式)
NECキャピタルソリューション(株) 50% (普通株式)

■株式会社エナビードゥー工

- ・ 資本金 100万円
- ・ 設立年月日 2021年3月10日
- ・ 出資比率 (株)バルニバービ 90% (種類株式) / NECキャピタルソリューション(株) 10% (普通株式)



②地方創再生プロジェクトの取組－ 淡路島「Frogs FARM ATMOSPHERE」



②地方創再生プロジェクトの取組－ 淡路島「Frogs FARM ATMOSPHERE」

●兵庫県淡路市「旧尾崎小学校施設用地等利活用事業」最優秀候補者選定に伴う廃校施設のリノベーション開発と新規出店のお知らせ

2014年に閉校となった淡路市立尾崎小学校跡地をリノベーション開発し地域コミュニティの場として「SAKIA（サキア）」を出店いたしました。淡路島の魅力を「広く発信すること」「島内外で融合させること」「伝統を守ること」を目指し、島の活性化と未来を切り拓く「地方創再生」の拠点施設として、「食・アート・学び」をテーマにしたコンテンツを展開していきます。



カフェ・レストラン
「オサキ食堂カフェテラス」



集い



コワーキングスペース
「サトヤマデスク」

食



ローカル湯種パン
「しまのねこ」

学び



こども図書館
「KODOMONO」



ロボットプログラミング教室

②地方創再生プロジェクトの取組－ 淡路島「Frogs FARM ATMOSPHERE」



Frogs FARM ATMOSPHERE

フロッグスファームアトモスフィア

2019 1st stage
4月27日 OPEN

GARB
COSTA ORANGE

2020 2nd stage
7月23日 OPEN

KEMOME SLOW HOTEL

2021~2022.04 3rd stage

- | | | |
|---|------------------|---|
| A | 2021年3月15日 OPEN | KAMOME SLOW HOTEL Sustainable Cottage
カモメ スロー ホテル サステイナブル コテージ |
| B | 2021年4月26日 OPEN | PICNIC GARDEN & promenade
ピクニック ガーデン & 散歩道 |
| C | 2021年6月30日 OPEN | 中華そば のうえ (ラーメン店) |
| D | 2021年7月22日 OPEN | Lazy Inn (カフェ&ヴィラ)
レイジーイン |
| E | 2021年8月14日 OPEN | 淡路島 回転すし 悦三郎 (回転すし店) |
| F | 2021年10月12日 OPEN | 酒場 ニューライト (バー) |
| G | 3月12日 OPEN | Long (ランチ/スイーツ/ディナー/ムーンライトバー)
ロング |
| H | 3月12日 OPEN | 旧尾崎小学校跡 SAKIA (コミュニティ館の拠点)
サキア |
| I | 4月26日 OPEN | ローカルゆだねパン しまのねこ
ABC (Awaji Blue Coast) Ice Cream |

2022.05~ 4th stage

- | | | |
|---|--------------|---|
| J | 7月28日 OPEN | きる かか ベッスツツブ (韓国料理店) |
| K | 8月11日 OPEN | KEMOME SLOW HOTEL
WALLED VILLA (1棟貸しコテージ)
カモメ スロー ホテル /ウォールドヴィラ |
| L | 10月 OPEN | KEMOME SLOW HOTEL Yukka (1棟貸しコテージ)
カモメ スロー ホテル /ユッカ |
| M | 2023年4月 OPEN | HOTEL THE COMPACT (17室のホテル)
ホテルザコンパクト |

●兵庫県洲本市大浜海岸における期間限定出店のお知らせ

環境省認定の日本の快水浴場百選にも認定される白砂青松の風光明媚な海水浴場である「大浜海岸」周辺において、不動産を取得し、今後洲本市においても新たなエリア開発を進めて行くことを視野に期間限定店舗を出店いたしました。当社が淡路島西海岸「Frogs FARM ATMOSPHERE」を通して創出してまいりました島内コミュニティや地域の方々からの協力もあり、地元住民も楽しめるエリアを回遊しながら過ごせる空間を演出いたしました。

●出店概要

店舗名：オオハマ ビーチテラス

所在地：兵庫県洲本市海岸通二丁目803番

出店面積：約940㎡

出店日：2022年6月1日～8月31日



③新たな収益源の創出

●新潟県湯沢町「かぐらスキー場」における冬季期間限定出店のお知らせ

日本屈指の広さを誇る「かぐらスキー場」において、雄大な自然と冬ならではの造形美を楽しめる一面の銀世界を借景に、夏や秋とは違った新たな冬のレジャーの楽しみを担う施設として、地場の食材を主軸にした身体に優しい和食を提供するレストランを冬季期間限定で出店いたしました。テラス席が本格的にオフシーズンとなる冬季期間においての出店は、冬季の人件費コントロールを実現する施策の一つであると想定しており、また都心部から期間限定で出向くことのできる新たな働き方のモデルケースとしての役割も担います。

●出店概要

店舗名：田代スーパーステーション・ぶなキッチン

所在地：新潟県魚沼郡湯沢町三国1066

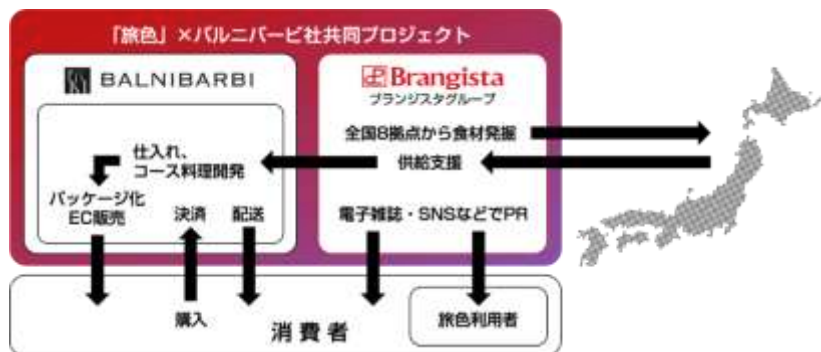
出店面積：約385㎡

出店日：2021年10月～2022年5月 期間限定



③新たな収益源の創出：WEBメディア「旅色」とバルニバービの地域活性化共同プロジェクト

無料で読める電子雑誌を発行する株式会社ブランジスタメディアが発行する旅行電子雑誌「旅色」と日本全国における地方食材の発掘、商品開発により地域活性化を行う共同プロジェクト「TRAVELING DISH ACTION」を始動。第一弾は島根県出雲市の食材をつかったコースを、第二弾は和歌山県湯浅町との連携により2022年6月下旬より販売が決定いたしました。今後コロナ禍において「おうちごはん」「お取り寄せ」人口が急増しているなか、地域に滞在することなく、地域に触れ、地域の魅力を食すコース料理を味わうことにより、新しい旅体験と地方への関心を訴求してまいります。



独自の仕入れネットワークを活かした各地域の食材発掘、及び総料理長監修による地域の食材を活用したコース料理の開発、を行い、当社運営のECサイト「CANDLE TABLE」にて販売



日本全国の観光地の情報や自治体とのネットワークを活用し、コース料理に使用する食材の発掘・供給支援を行うとともに、電子雑誌や SNS、読者コミュニティなどを活用した PR を実施

④サステナビリティへの取り組み

●環境省より「エコ・ファースト企業」に認定 ～環境先進企業としての地球環境保全の取り組みを約束～

2022年2月17日環境の分野において「先進的、独自のでかつ業界をリードする事業活動」を行っている企業（業界における環境先進企業）であることを、環境大臣が認定する「エコ・ファースト制度」において、「エコ・ファースト企業」として認定されました。



【認定の場】

(左) 環境省 環境事務次官 中井徳太郎氏
(右) 弊社代表取締役会長 佐藤裕久

※2022年2月17日時点

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



コンポスト設置による生ごみ削減

11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



太陽光パネルの設置

13 気候変動に
具体的な対策を



自社農園での野菜栽培



3Rの実践

今後の成長戦略



BALNIBARBI

① 新・事業戦略「イノベーティブシナジー戦略」の推進

② 地方創再生プロジェクトの取組 – Frogs FARM ATMOSPHERE 他

③ 地方自治体や有力企業とのアライアンススキームの検討

成長戦略の基本方針 「食から始まる日本創再生」

レストラン事業 (バッドロケーション戦略)

- ・“バッド”ロケーションの発掘・開拓
- ・自然環境を取り込むデザイン・企画力
- ・店舗運営子会社によるオペレーションナレッジ

エステートビルドアップ (EB) 事業 (バッドロケーションデベロッパー戦略)

- ・“バッド”ロケーションの発掘・開拓
- ・自然環境を取り込むデザイン・企画力
- ・店舗運営子会社によるオペレーションナレッジ
- ・不動産価値向上を目的としたアライアンスによるファイナンススキーム



バッドロケーション戦略における出店で培ったノウハウや知見を元に、
地方創生を軸としたエリア開発

開発エリアの不動産価値を高める「イノベティブシナジー戦略」を推進

②地方創再生プロジェクト：Frogs FARM ATMOSPHERE（兵庫県淡路島）

淡路島北西エリア「Frogs FARM ATMOSPHERE」における一棟貸し宿泊施設を新たに展開

「Frogs FARM ATMOSPHERE」において、今後国内外問わず益々の観光客の増加を見込んでいる中で、少人数からご家族で利用できる全 17 室 のブティックホテル、一棟貸し宿泊施設を開業いたします。



KAMOME SLOW HOTEL Walled Villa

建物や壁に囲まれたプライベート感あふれるコートハウス。自然の中で時間を楽しむセカンドハウスのような滞在を提案する。

.....
2022年8月11日開業
敷地面積：200.00m² / 建築面積：
53.69m² / 構造：木造 2 階建

KAMOME SLOW HOTEL YUCCA

海沿いの開放感あふれる別荘風の建物で自然の木をふんだんに使ったログハウスが誕生。家族やグループ単位で手軽に非日常感を楽しむ宿泊施設を予定。

.....
2022年10月開業予定
敷地面積：503.76m² / 建築面積：
165.65m² / 構造：木造 2 階建

HOTEL THE COMPACT

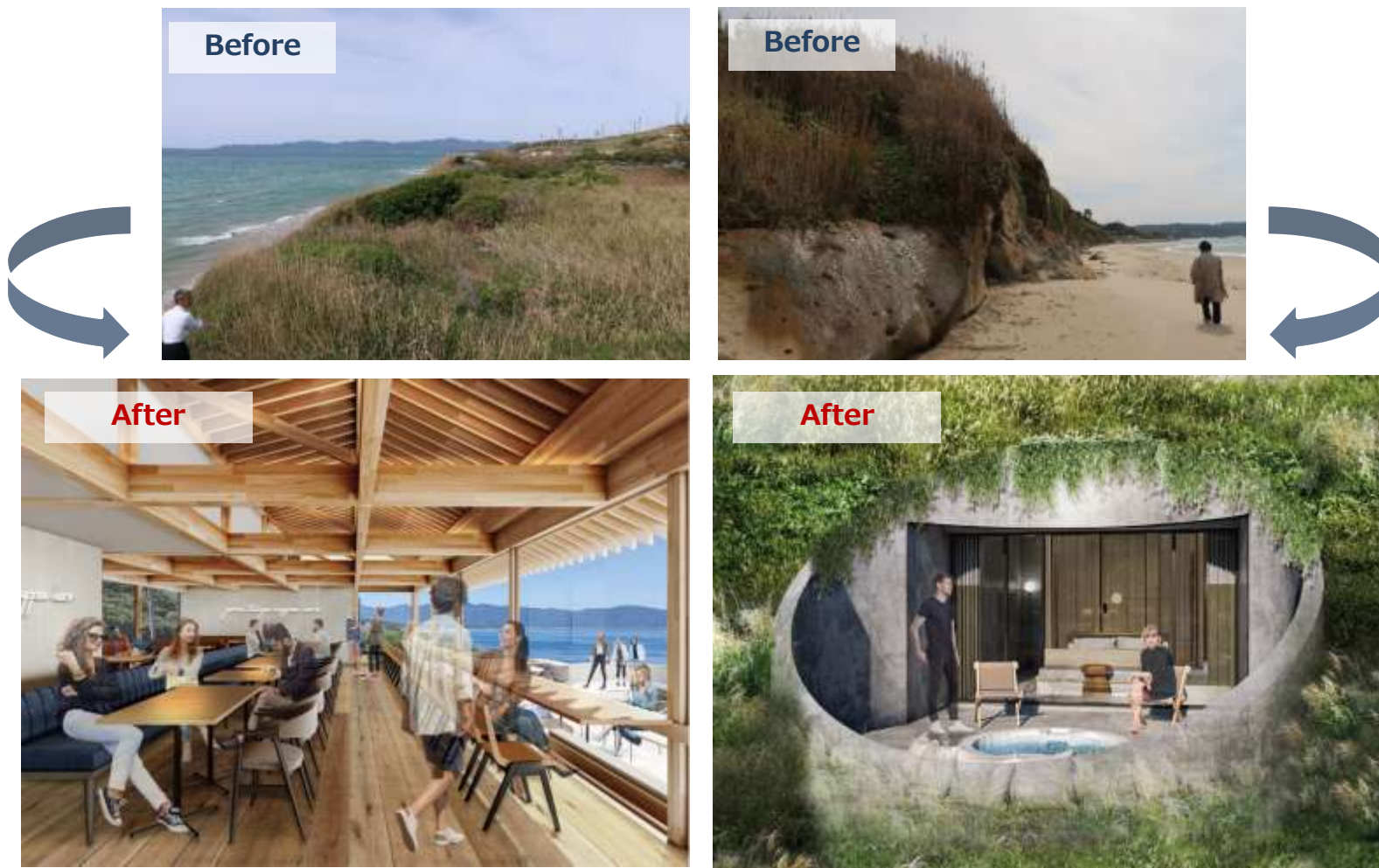
景色や自然の音を感じながら心と体に休息を補えるステイゲストのみが楽しめるサウナやプール、誰もが気軽に立ち寄れるラウンジスペース等を完備する。

.....
2023年春 開業予定
敷地面積 880.28 m² / 建築面積 395.81 m² /
構造：鉄骨造 3 階建

②地方創再生プロジェクトの取組：出雲エリア開発プロジェクト（島根県出雲市）

SBIホールディングス株式会社、株式会社島根銀行との島根県内における地方創生事業に関する基本合意のお知らせ

当社は、SBIホールディングス株式会社及び株式会社島根銀行および地元企業との間で島根県出雲市の地域活性化を目的に共同設立された不動産SPC（特別目的会社）である出雲アトラティブ株式会社より委託を受け、2023年4月の開業に向けレストラン及び宿泊施設の開発、運営を行うこととなりました。眼下に広がる日本海を望む新たなリゾート地としての魅力を再発見を目指します。



石川県羽咋郡「宝のなぎさ交流促進事業」（千里浜なぎさドライブウェイ）公募型プロポーザル事業者選定及び出店に関する基本合意を締結

砂辺を活かした新たな交流拠点を創出した施設を整備し、誘客促進を図ることを目的に石川県羽咋郡宝達志水町が主催した「宝のなぎさ交流促進事業開発事業者募集」において、当社のこれまでの実績が評価、出店が決定。第一期として、当社のフラッグシップ店舗を象徴するシグネチャーブランドである「GARB」を冠した「GARB onborart」を出店いたします。広大な日本海を借景に、ゆったりとした時間を過ごすことができるカフェ&レストランとして、能登野菜や特産水産品にこだわったメニューを提供いたします。第二期としては「宿泊・過ごす、そしてつながり、継続する」を形にしていくプロジェクトとして、宿泊施設を計画しております。アフターコロナにおける地域活性の未来に向けて、北陸地方でもバルニバービの地方創再生プロジェクトを始動します。

● 出店概要

店舗名：GARB onborart

所在地：石川県羽咋郡宝達志水町今浜ソ1-25

出店面積：約 1,490 m²
(開発総面積 約 15,810 m²予定)

出店日：2024年秋から順次



2023年7月期以降の出店スケジュール

2022年

8月

カモメ スローホテル ウォールド ヴィラ*[兵庫県淡路市]

食を通じた地方創再生プロジェクト「Frogs FARM」

10月

カモメ スローホテル ユッカ*

食を通じた地方創再生プロジェクト「Frogs FARM」

2023年

4月

出雲エリア開発プロジェクト [島根県出雲市]

SBIホールディングス、島根銀行との島根県内における地方創生事業

ホテル ザ コンパクト[兵庫県淡路市]

食を通じた地方創再生プロジェクト「Frogs FARM」

2024年

秋

GARB onborart [石川県羽咋郡宝達志水町]

石川県羽咋郡「宝のなごさ交流促進事業」の公募型プロポーザル

*：グループ店舗数にカウントしておりません
※2022年9月27日現在開示しているプロジェクトのみ記載しております。

③地方自治体や有力企業とのアライアンススキーム

多彩なファイナンススキームによるエリア開発プロジェクトや地元企業との共同運営等を推進

■ 淡路島 回転すし 悦三郎（地元企業との共同運営）



■ 淡路島「Frogs FARM」における外部企業の出店誘致



■ 出雲エリア開発プロジェクト



■ WEBメディア「旅色」との地域活性化共同プロジェクト



株主還元について



BALNIBARBI

●配当について

2021年7月期は中間配当を1株当たり2.5円の普通配当、期末配当は1株当たり5円の普通配当を実施いたしました。

2022年7月期につきましても、中間配当を1株当たり2.5円、期末配当を1株当たり5円の普通配当を予定しております。

●株主優待制度について

毎年7月末日または1月末日現在の当社株主名簿に記載された、当社株式100株以上を保有される株主様を対象に株主優待を導入しております。

①全ての株主様を対象としたご優待

当社グループ全店でご利用いただける株主様お食事ご優待券またはバルニバービオリジナル商品のいずれかを贈呈します。

ご所有株数	ご優待内容
100株以上 200株未満	株主様お食事ご優待券 ¥ 1,000
200株以上 600株未満	株主様お食事ご優待券 ¥ 2,000 もしくは バルニバービオリジナル商品のいずれかを1つ
600株以上	株主様お食事ご優待券 ¥ 4,000 もしくは バルニバービオリジナル商品のいずれかを2つ

②長期保有株主様を対象としたご優待

継続保有株数に応じたステイタス「Salon BARBIES」カードを発行し、当社グループ店舗でのご利用金額の割引や、限定コースの特別価格でのご優待などの特典を導入しております。そのほか、自社主催の抽選会（※）や株主様限定イベントの開催なども予定しております。

名称	条件	ご優待内容
ブロンズ	1年以上継続して200株以上保有 半年以上継続して600株以上保有	割引 3%
シルバー	3年以上継続して200株以上保有 1年以上継続して600株以上保有	割引 5% 限定コース割引
ゴールド	3年以上継続して600株以上保有 2年以上継続して1,000株以上保有	割引 10% 限定プレミアムコース割引 花火大会特別鑑賞席優先予約 (先着20名、通常料金)

※ 抽選につきましては、毎年12月と6月に応募形式で開催いたします。

対象となる株主様は毎年7月末日、1月末日現在の株式名簿に記載された当社株式500株以上を保有されている株主様となります。

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。

本資料（業績見通しを含む）は現時点で入手可能な信頼できる情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいて当社が作成したものでありますが、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なることが起こりえます。

IRに関するお問い合わせ

株式会社バルニバービ 経営管理部

TEL06-4390-6544
Email: ir@garb.co.jp



BALNIBARBI